

高 総 第 2 0 号
平成27年5月12日

ボランティアグループ「高取町ご意見番」
代表幹事 中西 宏次 様

高取町副町長 桐田 健吾

「高取町副町長への公開質問状」に対する回答について

平成27年4月21日付けでいただいた高取町職員の住民への対応と体制について、下記のとおり回答します。

記

1 職員機構改革について

今年度策定予定の「高取町まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、庁内組織として町長を本部長とする「高取町まち・ひと・しごと創生本部」のほか、副町長を幹事長、教育長を副幹事長、各課長を幹事とする「幹事会」、各課の職員で構成する「分科会」を担当課の企画立案により設置する予定です。

また、各課が連携して取り組むべき課題については、各課を横断する組織（プロジェクトチーム）を別途設置し、連携強化や情報共有等を図っています。

これらの庁内組織を活用し、各課の連携を密にするとともに、担当職員の意見等を取り入れながら、高取町の特色や資源を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えています。

2 意識変革について

行政サービスが多様化する中、高取町の将来に夢ある政策を進めるためには、人材育成は大変重要です。そのため、県での実務を通じて専門知識の取得や能力開発を行う市町村職員実務研修制度を活用し、約20年ぶりに町の若手職員を奈良県庁に派遣しました。

また、飛鳥広域行政事務組合をはじめ、他の市町村と連携したイベントの実施などにも取り組んでいます。

このような機会を通して、それぞれの地方公共団体がお互いの優れている点を学ぶことは人材育成の面でも大変意義あることと考えています。そのため、今後も市町村職員実務研修制度の活用や各種専門研修への参加、他市町村との連携などに積極的に取り組んでいきたいと考えています。